



犬・笑・暮だより vol.90

ほんわかあったか、床暖房のある暮らしってどう？



春の陽だまりのようなあたたかさで、部屋全体をやさしく包み込んでくれる床暖房。ぜひ、使ってみたくて考えている方も多いのでは？今回は、愛犬との暮らしと床暖房について考えてみましょう。

いいところと注意したいところ

床暖房は、愛犬が器具を転倒させてしまったり、触って火傷をするといった心配がないのいいところ。それだけではなく、空気が乾燥しにくく、温風によって皮膚の水分を失わないので、フケにならないし、抜け毛やホコリを舞い上げるといこともありません。また、器具本体やコードが露出しないから愛犬がイタズラすることもなく、部屋が広々使えて、お掃除も簡単です。

床暖房は愛犬との暮らしにはもってこいの暖房といえそうですが、気をつけてあげなければならないこともあります。

愛犬が普段いる場所に床暖房を設置する場合は、全面ではなく、床暖房の入っていないところもつくり、体が熱くなったときに移動して、少し熱を冷ます場所をつくることをオススメします。寒くなったらまたあたたかい床に移動してあげればよいですからね。

注意してあげたいのは子犬や老犬。熱くなりすぎていることに気がつかないまま熟睡してしまい、ときには低温火傷を起こしてしまうこともあります。そのような場合は、飼い主さんが時々様子を見て移動させてあげることが必要です。また、水分がいつでも摂れるように、新鮮なお水が常にフードボールにあるように気をつけてあげましょう。



床暖房にはどんな種類があるの？

床暖房の種類はたくさんありますが、大きく分けると電気式と温水式になります。種類によって初期費用やランニングコストが大きく違ってきますので、暮らし方に合ったものを選ぶことがポイントです。

たとえばリフォームで床暖房を設置する場合、電熱線で発熱するシートを床下に敷き込む方式のものは施工が簡単。初期費用は安くすみますが、ランニングコストは高めですので、狭い面積で短時間使う場合に向いています。

それに対し、温水を循環させるタイプは、給湯器の設置や配管工事など費用が掛かりますが、ランニングコストは安く済みます。愛犬と暮らす家庭のようにリビング・ダイニングなど広い面積で長時間使う場合は、温水式床暖房がオススメです。また、温水式は電気式に比べ、低温火傷をおこす心配がほとんどないのも利点です。

床暖房はホットカーペットのように床だけがあたたかいというのではなく、輻射熱で部屋全体をあたたためてくれます。真冬でも、他の暖房器機を使わなくても十分あたたか。春の陽だまりのような穏やかなあたたかさなので、カラダだけでなく、ココロまでほんわかあたたかくしてくれそうです。



愛犬に関するお住まい・お庭のお悩みは **庭遊館** にお気軽にご相談下さい



携帯サイトはコチラ！！

庭園工事・外構工事・管理・設計施工

株式会社 庭遊館

〒504-0945 各務原市那加日新町6-65

TEL 058-216-3110

FAX 058-216-3113

<http://www.teiyukan.jp>

